

ITパスポート公開セミナー (CBT 試験対応)

●出題範囲 (3分野 9つの大分類 23の中分類)

共通キャリア・フレームワーク		試験名称
レベル4	高度な知識・技能	高度試験 (9つの専門区分)
レベル3	応用的知識・技能	応用情報技術者試験
レベル2	基本的知識・技能	基本情報技術者試験
レベル1	職業人に共通に求められる基礎知識	ITパスポート試験

スキルアップ

●ITパスポート試験の概要

①試験の位置づけ	経済産業省が実施する「情報処理技術者試験」の一区分であり、職業人として誰もが備えておくべき、情報技術に関する基礎的な知識を測る国家試験である。
②受験料	5,100円 (支払いはクレジット、コンビニ、バウチャーから)
③試験時間	165分 (2時間45分) 時間帯は会場により異なる
④出題方式と問題形式	すべて四肢択一。パソコンを用いて試験をおこなう CBT (Computer Based Testing) 方式。電卓使用不可。 (1)小問形式 (1問中1設問) (2)中間形式 (1問の中に4つの設問がある問題) ★1つの状況設定に対し、複数の視点から知識・理解を問う
⑤出題数	100問 全問解答 (選択問題は無し) (1)小問形式: 84問 (2)中間形式: 16問 (4設問×4問)
⑥分野別出題数	3つの分野から出題… [出題数] ●ストラテジ系(経営全般)… [35問程度] ●マネジメント系(IT管理)… [20問程度] ●テクノロジ系(IT技術)… [45問程度]
⑦合格基準	次の (1)、(2) の両方を満たした場合、合格とする。 (1) 総合評価点: 600点以上/1000点満点 (2) 分野別評価点: 3つの分野ごとに満点の30%以上

分野	大分類	中分類	主な出題ポイント
ストラテジ系	企業と法務	1 企業活動	(1) ストラテジ(経営全般) [出題率約35%] ●企業が情報化を行うのは、業務改善のためです。よって、まずは企業活動や担当業務について、理解していなければなりません。そこで、企業活動や業務に関する知識が問われます。 ●業務改善を行うには、現状を把握・分析し、解決策を考えなければなりません。よって、データ分析や問題解決のための手法に関する知識が問われます。 ●企業が守るべき規範や、情報システムを活用する上で守るべき法律に関する知識が問われます。特にセキュリティ関連法規の出題比率が高くなっています。 ●業務は企業が立てる戦略から生み出されるものです。よって、経営戦略やシステム戦略について、ひととおり理解しているかが問われます。
		2 法務	
	経営戦略	3 経営戦略マネジメント	
		4 技術戦略マネジメント	
		5 ビジネスインダストリ	
	システム戦略	6 システム戦略	
		7 システム企画	
マネジメント系	開発支援	8 システム開発技術	(2) マネジメント(IT管理) [出題率約20%] ●システム開発と運用の支援を行うために、システム開発の流れや見積りの技法、運用に関する知識が問われます。 ●システム開発は「プロジェクト」であり、「プロジェクト」には「マネジメント」が必要です。プロジェクトマネジメントの目的やプロセスの流れなどが問われます。 ●ITサービスの品質を高めるための「サービスマネジメント」について、理解しているかが問われます。
		9 ソフトウェア開発管理技術	
	プロジェクトマネジメント	10 プロジェクトマネジメント	
	サービスマネジメント	11 サービスマネジメント	
テクノロジ系	基礎理論	12 システム監査	(3) テクノロジ(IT技術) [出題率約45%] ●基礎的な用語・概念などの知識や、論理的な思考能力が問われます。 ●利用する情報機器及びシステムを把握するために、コンピュータのハードウェアやソフトウェア、システム構成要素についての基礎知識が問われます。 ●マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティなど、IT社会を生きる上で欠かせない技術要素に関する知識が問われます。 ●身近な情報システムの安全な利用を行うために必要な知識が問われます。不正アクセス、ウイルス対策、暗号化など、セキュリティ関連の内容は特に出題率が高いです。
		13 基礎理論	
	コンピュータシステム	14 アルゴリズムとプログラミング	
		15 コンピュータ構成要素	
		16 システム構成要素	
		17 ソフトウェア	
		18 ハードウェア	
	技術要素	19 ヒューマンインタフェース	
		20 マルチメディア	
		21 データベース	
		22 ネットワーク	
		23 セキュリティ	

★試験終了後、画面上に採点結果が表示されます。★翌月にWeb上で合格発表があり、後日、合格者には合格証書が送られてきます。

★出題範囲は広いので、計画的な学習が必要ですね。

★分野ごとに合格基準評価点が定められていますので、すべての分野をまんべんなく学習しておきましょう。

●本試験問題にチャレンジ！

★本試験問題は、年に2回(4月と10月)に100問ずつWebサイト上で公開されています。各分野の代表的な問題を解いてみましょう。



(1) ストラテジ系

問1…平成26年10月公開問題 問21……(複数選択)

個人情報保護法における"個人情報"だけを全て挙げたものはどれか。

- a.記号や数字だけからなるハンドルネームを集めたファイル
- b.購入した職員録に載っている取引先企業の役職と社員名
- c.電話帳に載っている氏名と住所、電話番号
- d.取引先企業担当者の名刺データベース

ア a, b イ a, b, c ウ b, c エ b, c, d

問2…平成26年10月公開問題 問28……(記述選択)

顧客の購買行動を分析するバスケット分析の事例として、適切なものはどれか。

- ア コンビニエンスストアで商品ごとの販売促進費と売上高の関係を分析する。
- イ コンビニエンスストアに来店する客が、一緒に購入する商品を分析する。
- ウ スーパーマーケットで販売する商品カテゴリごとの収益率を分析する。
- エ スーパーマーケットに来店する客の来店頻度や購入金額を分析する。

(2) マネジメント系

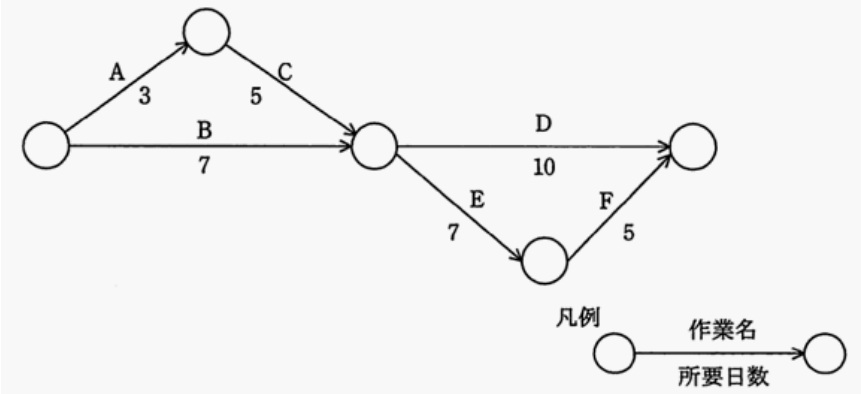
問3…平成26年10月公開問題 問38……(記述選択)

コミュニケーションの形式には、2人以上の当事者間で複数方向に情報が交わされる相互型コミュニケーション、特定の人に情報を送信するプッシュ型コミュニケーション、自分の意思で必要な情報にアクセスするプル型コミュニケーションがある。プル型コミュニケーションに該当するものはどれか。

- ア 社内の掲示板サイトで進捗会議の日程を参照する。
- イ 主要なメンバに電話し進捗会議の日程を調整する。
- ウ テレビ会議システムを使って進捗会議を行う。
- エ 電子メールに進捗会議の議事録を添付して配信する。

問4…平成23年春期特別試験 問48……(事例)

図のアローダイアグラムにおいて、作業Bが3日遅れて完了した。全体の遅れを1日にするためには、どの作業を何日短縮すればよいか。



- ア 作業Cを1日短縮する。
- イ 作業Dを1日短縮する。
- ウ 作業Eを1日短縮する。
- エ どの作業も短縮する必要はない。

(3) テクノロジ系

問5…平成27年4月公開問題 問55……(単語選択)

ブラウザとWebサーバ間でSSLを使った通信を行うことを示すURLの先頭の記述として、適切なものはどれか。

- ア http:// イ https:// ウ shttp:// エ ssl://

問6…平成26年10月公開問題 問60……(組合せ選択)

認証技術を、所有物による認証、身体的特徴による認証及び知識による認証の三つに分類したとき、分類と実現例①～③の適切な組合せはどれか。

- ① ICカードを用いた認証 ② ID, パスワードによる認証 ③ 指紋による認証

	①	②	③
ア	所有物による認証	身体的特徴による認証	知識による認証
イ	所有物による認証	知識による認証	身体的特徴による認証
ウ	知識による認証	所有物による認証	身体的特徴による認証
エ	知識による認証	身体的特徴による認証	所有物による認証

●月ごとの統計（過去 6 か月分）と昨年度（1 年間）の合計

★合格率などの統計情報は、実施月の翌月中旬に Web サイト上で公開されます。

	応募者数	受験者数	合格者数	合格率
平成 26 年 10 月	6,079	5,596	2,586	46.2%
平成 26 年 11 月	6,130	5,550	2,667	48.1%
平成 26 年 12 月	6,761	6,088	2,876	47.2%
平成 27 年 1 月	6,054	5,439	2,611	48.0%
平成 27 年 2 月	7,852	7,136	3,380	47.4%
平成 27 年 3 月	11,948	10,773	4,707	43.7%
平成 26 年度の合計	78,720	71,464	34,215	47.9%

●CBT 方式の試験について

IT パスポート試験は、平成 23 年 11 月以降、CBT 方式が採用されたことにより、受験者が都合のよい日時・会場を選択して受験できるほか、受験申込みから試験結果の確認までが迅速になっています。（受験申込みは試験前日の午前中まで可能であり、採点結果は試験終了直後に画面上で確認できます。）

受験申込みは、受験日の 3 か月前から行えます。試験会場、試験会場ごとの試験開催日時、申込方法等の詳細については、試験センターの専用サイトに公開されておりますので、詳しくは、試験センターのサイトをご覧ください。

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

●受験申込み～受験までのおおまかな流れ

- (1) **利用者登録**：試験センターのサイトより、利用者 ID の登録を行う。
- (2) **申込み**：受験料の支払方法がクレジットカード、バウチャーの場合は受験日前日の午前中までに、コンビニの場合は受験日の 5 日前までに、試験センターのサイトから試験会場、試験日、時間帯を指定・予約し、受験番号、利用者 ID、確認コード等が記された「確認票」を印刷しておきます。（試験会場、試験日、時間帯は、予約を行った後でも、試験日の 7 日前までなら変更可能です。）
- (3) **試験当日**：「確認票（又は受験番号・利用者 ID、確認コードをメモしたもの）」と「身分証明書」を持参して試験会場へ行き、受付に提示します。（身分証明書は顔写真付きの本人であることを証明できるもの（パスポート、運転免許証、住民基本台帳カード、外国人登録証など）です。）
受付の指示に従い、ロッカーに荷物を入れ、コンピュータールームに入室。指定された座席に着席し、ログインします。

●試験センターのサイトで、CBT 試験を疑似体験しておこう！

CBT 方式は、これまでのマークシートによる解答方法の試験とは実施方法が大きく変わるため、試験センターでは、受験の前に受験画面や操作方法を体験・確認できるようにすることを目的として「IT パスポート試験疑似体験用ソフトウェア」を公開しています。このソフトウェアは情報処理技術者試験センターの下記ページからダウンロードできます。

https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial_examapp.html

（または試験申込みページ「<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>」のタブ見出し「受験案内」をクリックし「CBT 疑似体験ソフトウェア」をクリックして、上記のページへアクセスして、ダウンロードします。）

*******操作画面の見本*******

(1) ログイン画面

ITパスポート試験 ログイン
現在時刻：18:50:07

IPA ITパスポート試験

受験番号、利用者ID、確認コードを入力後、試験前のお知らせを確認の上、ログインボタンを押してください。
※疑似体験のため、受験番号、利用者ID、確認コードの入力は不要です。

受験番号
利用者ID
確認コード

<< 試験前のお知らせ >>

1. 受験者端末にログイン後、試験開始時間になるまでは試験を開始できません。
試験開始時間の1分前にメッセージを表示します。
2. 受験者端末にログインすると、同意事項が表示されますので、ご理解の上、「同意する」ボタンを押してください。
3. 「試験終了」ボタンを押すと、試験時間の途中でも試験を終了することができます。

<

Ver. 2.0.0.0

- ログイン後に注意事項と操作説明(複数ページ)が表示されます。
- 「試験開始」ボタンをクリックすると、試験開始となり、残り時間が表示されます。

(2) 問題画面 1 (小問形式の問題)

ITパスポート試験

受験番号: IP1401A001 残り時間: 161 分 42 秒 白黒反転 背景色変更 文字色変更 表示倍率: 130% 表計算仕様 ヘルプ

氏名: 試験 太郎

問1【戦略系】

小売業のビジネス戦略の立案において、「優良顧客の維持」がCSF(Critical Success Factor)として設定された。このCSFの達成度を評価するために用いる分析として、最も適切なものはどれか。

ア 顧客別のRFM分析 イ 新規顧客のデモグラフィック分析
ウ 新商品のPOS分析 エ 店舗別商品別売上高のABC分析

表示倍率を変更できます。

表計算の仕様を表示できます。

解答欄 ☐ ア ☐ イ ☐ ウ ☐ エ ☐ 後で見直すためにチェックする

解答状況 問1 問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問10

< 前の問へ 次の問へ > 解答見直し 試験終了

- 小問形式の問題は、戦略系、マネジメント系、テクノロジー系の順に出題されます。
- 問題文を読み、解答欄の「ア、イ、ウ、エ」のうちの一つをクリックして選択します。
- 後で見直したい問題には、チェックボックス「後で見直すためにチェックする」をクリックしておくと、画面左下の「解答状況」欄に印が付きます。
- 「次の問へ」をクリックすると、次の問へ移動します。
- 「前の問へ」をクリックすると、前の問へ移動します。
- 画面左下の「解答状況」欄には、問1～100までスクロールして表示できます。問番号をダブルクリックすると、選択した問題にすばやく移動できます。

(3) 問題画面 2 (中間形式の問題)

ITパスポート試験

受験番号: IP1401A001 残り時間: 9 分 27 秒 白黒反転 背景色変更 文字色変更 表示倍率: 130% 表計算仕様 ヘルプ

氏名: 試験 太郎

中間D / 問100【テクノロジー系】

システム統合時のデータ移行作業に関する次の記述を読んで、4問のうち、適切なものをすべて選択してください。

小売業のP社では、MとSの二つのブランド商品を販売しており、販売管理システムが別々に稼働している。P社では、販売業務の効率化を図るため、ブランドSの販売管理システムの顧客データをブランドMのシステムに移行して、統合した上で稼働させる方針を立てた。このために移行作業を実施した。Aさんはこのメンバーに選ばれ、他のメンバーと協力して二つのシステムを調査して、統合に必要な作業としてM1～M4、S1～S4を洗い出すごとの依存関係を検討し、図1に示す移行作業のアローダイアグラムを作成した。

図1: アローダイアグラム (M1, M2, M3, M4, S1, S2, S3, S4の間の関係を示す)

問97 問98 問99 問100

Aさんは、ブランドMの販売管理システムの顧客テーブルに統合された顧客データを移行する際、移行作業が正しく完了したことを判定する基準の一つとして、移行作業前のそれぞれの販売管理システムを調査し、次のような結果を得た。この結果に基づき、移行作業後の顧客データは何件になるか。

(1) ブランドSの顧客テーブルには、2,000件の顧客データが存在する。

(2) ブランドMの顧客テーブルの顧客コードは0～9までの数字と英字の6桁の文字列で、6桁目がチェックディジットである。現在、顧客コードが重複しているデータ件数の5%が登録されている。

(3) ブランドMの顧客テーブルに登録されている件数の10%は、ブランドSの顧客テーブルにも登録されているので、ブランドSの顧客データを移行しない。

ア 500 イ 7,000 ウ 51,500 エ 52,500

解答欄 ☐ ア ☐ イ ☐ ウ ☒ エ ☐ 後で見直すためにチェックする

解答状況 問91 問92 問93 問94 問95 問96 問97 問98 問99 問100

< 前の問へ 次の問へ > 解答見直し 試験終了

解答見直しボタン

- 中間形式の問題は4問あり、それぞれ、中間A、中間B、中間C、中間Dという中間番号が付けられています。
- 各中間は、4つの設問(問)から構成されています。たとえば、中間Aは問85～88の4問で、中間Dは問97～100の4問で構成されています。
- 中間形式の問題では、左側に問題文本文が、右側に設問が表示されます。
- 4つの設問はタブで切り替えて表示します。
- 「次の問へ」をクリックすると、次の問へ移動します。100問目の場合は問1へ移動します。「前の問へ」をクリックすると、前の問へ移動します。
- 「解答見直し」ボタンで、解答一覧を表示できます。
- 画面右下の「試験終了」をクリックすると、解答を終了して採点に移ります。
- 採点が終了すると、総合評価点・分野別評価点が表示されます。

★その他: 電卓は使用できません。試験時間中には、机上に用意されたメモ用紙にメモをとることができます(このメモは持ち帰ることはできません)。

●合格のための対策（初学者を想定しています）

（1）学習に当たっての心得

- ①少なくとも最低限のオフィスツール（ワープロソフト、表計算ソフト、電子メールソフト、Web ブラウザなど）は、あらかじめ使えるようにしておきましょう。
- ②通勤・通学の電車の中など、細切れの時間を有効に使うことを心がけましょう。
- ③新聞の IT 関連・ビジネス関連の記事には、こまめに目を通しましょう。
- ④ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系でバランスよく得点できるよう、苦手分野を克服するようにしましょう。
- ⑤合格するまでのプロセスを十分に楽しみましょう。（各学習項目と自身の暮らしや仕事との関わりを確認しながら、視野が広がっていくことを楽しみましょう！）

（2）初学者が用意すべき教材

- a. 試験対策テキスト（出題範囲全般の基礎知識が載っている受験参考書）
- b. 基本問題集（分野別に練習問題・予想問題が載っているもの）
- c. 過去問題集（過去 3～4 回程度の本試験公開問題が記載されたもの）
- d. できれば、それ以前の過去問題（試験センターの Web サイト上で、平成 21 年春期以降の本試験問題及び解答を閲覧することができます。）

- TAC の IT パスポート講座にご参加いただく場合は、教材 a, b, c に加え、実力テスト 3 回分の問題を配布させていただきます。また、講座の最終日に「総合実力テスト」を実施する予定です。

（3）中間形式の問題（100 問中 16 問出題）の対策

- ・小問形式の問題のほかに、**中間形式**の問題が 4 問出題されます（中間 A～D）。これは、1 つの状況設定に対し、複数の視点から知識・理解を問う問題で、1 つの問題が 4 つの設問から構成されます。（4 設問×A～D の 4 問＝16 問）
- ・実務で遭遇する身近な場面を取り上げた事例問題であり、知識に加えて文章理解力、図表を読み取る力、思考能力などが要求されます。ただし、問題文はそれほど長文ではなく、設問はすべて 4 択問題ですから、恐れることはありません。
- ・問題集に記載の中間形式の予想問題や過去問題を解いて、出題形式に慣れしておきましょう。（本資料 p6 参照：解答：問 89 イ、問 90 ウ、問 91 イ、問 92 エ）
- ・日ごろからパソコン雑誌や、新聞の IT 関連の記事を意識して読んだりすることを心がければ、「IT 知識」と「文章理解力」の両方が一度に身につきますよ。

●学習手順及びスケジュールプラン（独学者を想定した一例です）

4 か月前 …「受験すること」を決意する！

- ①試験対策テキスト（前述の教材 a）または基本問題集（教材 b）をさっと眺めて、自身の得意な分野、不得意な分野を把握しておく。
- ②得意分野については、まず基本問題集（教材 b）の問題を解いてみる。わからない内容や用語については試験対策テキスト（教材 a）で調べ、問題を解きなおす。

3 か月前

- ③苦手分野については、まず試験対策テキスト（教材 a）でじっくり学習し、その後基本問題集（教材 b）の問題を解いてみる。
- ④試験の申込みを行う。（受験申込みは、受験日の 3 か月前から可能です。会場に空きがあれば、受験日前日の午前中までは申込み可能ですが、早めに申し込んだほうが早いうちに心の準備もできますし、計画的に学習を進めることができます。）
- ⑤新聞や雑誌の IT 関連や、ビジネス戦略関連の記事に目を通すことを習慣づける。（受験参考書に記載のない、新しい用語などが出題されることも多いです。）

2 か月前

- ⑥IT パスポートの過去問題（教材 c）を解く。
- ⑦テキストや過去問題を暗記するのではなく、きちんと理屈を理解する。正解以外の選択肢、周辺の知識も Web などで調べ、ノートなどにまとめておく。（過去問題とまったく同じ問題が出題されることは少ないので、暗記だけでは試験対策になりません。）

1 か月前

- ⑧IT パスポート本試験問題（教材 c、教材 d）を繰り返し解く。

10 日前～試験前日

- ⑨時間配分の練習をしておく（100 問を 165 分以内で解く）。知識の確認をする。

★学習期間には個人差もあると思います。独学で学習される方は、上記をご参考に、ご自身の状況に合わせて、学習スケジュールを立ててみてください。

♪いかがでしたか？
これを機会に、「IT パスポート試験」にチャレンジしてみませんか？
私達と一緒に、試験勉強を楽しみましょう。



★全 100 問のうち、問 85～100 が、4 問 1 組の中間形式の問題となっています。

●中間形式の問題例 (参考資料) 平成 24 年秋期 公開問題より

中間 B 交通費申請システムの導入の検討に関する次の記述を読んで、四つの問いに答えよ。

S 社の企画部では交通費申請システムの導入を検討している。企画部の A さんは、上司の B 課長から"先日のシステム導入検討会の内容をまとめてほしい。まずは、交通費申請に関する現在の問題点とシステムへの要望を整理して、システムがもつべき機能を洗い出すことから始めてはどうだろうか。そして、システム導入の目的を明確にしていけることが大切だね。"との指示を受けた。システム導入検討会のメモは、次のとおりである。

(システム導入検討会のメモ)

- (1) 利用区間と申請された金額が正しいかどうかの確認に、最も多くの時間を掛けている。
- (2) 市販のソフトウェアを利用すれば、システム導入費用が安くなるはずである。
- (3) 数日分をまとめて申請できる方法があってもよい。
- (4) 申請書類に記入すべき項目が記入されていないなどの書類の不備が多い。
- (5) 申請書類の計算ミスが多くて、承認までに時間が掛かっている。
- (6) システム導入後も、申請書類の不備やミスは本人が修正して再度提出する。
- (7) 過去に申請したデータを再利用して申請したい。
- (8) 申請後に申請した交通費がいつ支払われるのかが分かるとよい。
- (9) システム導入時には説明会を聞いてほしい。

(ストラテジ)

問 89 (システム導入検討会のメモ) の中で、交通費申請に関して現時点で発生している問題点を記述しているものはどれか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア (1) と (3) と (5) | イ (1) と (4) と (5) |
| ウ (3) と (4) と (5) | エ (4) と (5) と (6) |

(ストラテジ)

問 90 (システム導入検討会のメモ) の中で、現時点で発生している問題点ではないが、交通費申請でこれができると便利であるというような、システムへの要望を記述しているものはどれか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア (2) と (3) と (7) | イ (3) と (6) と (9) |
| ウ (3) と (7) と (8) | エ (7) と (8) と (9) |

(マネジメント)

問 91 (システム導入検討会のメモ) (5)の"申請書類の計算ミスが多くて、承認までに時間が掛かっている。"の原因を調べたところ、合計計算の単純な誤りで、返却された申請書類を申請者が修正して再度提出しているの、承認までに時間が掛かっていることが分かった。これを改善するためにシステムがもつべき機能として、適切なものはどれか。

- ア 申請後に、計算ミスがある申請を検索できる機能
 イ 申請時に、必要な計算を自動的に行う機能
 ウ 申請者が、電卓機能をもったソフトウェアを使えるようにする機能
 エ 申請を承認する上司が、計算ミスを修正することができる機能

(マネジメント)

問 92 A さんは、システム導入の目的を"申請手続の効率化"にしたいと考えた。この目的に基づいてシステム導入を進めるに当たり、優先して取り組むべきこととして、適切なものはどれか。

- ア システム説明会を多く開催して、全社員がシステムを使えるようにすること
 イ 市販のソフトウェアを利用して、できるだけ安くシステムを導入すること
 ウ 電子メールを利用して、交通費が支払われる日を連絡すること
 エ 利用区間から金額を設定する機能を導入して、その自動化を図っていくこと